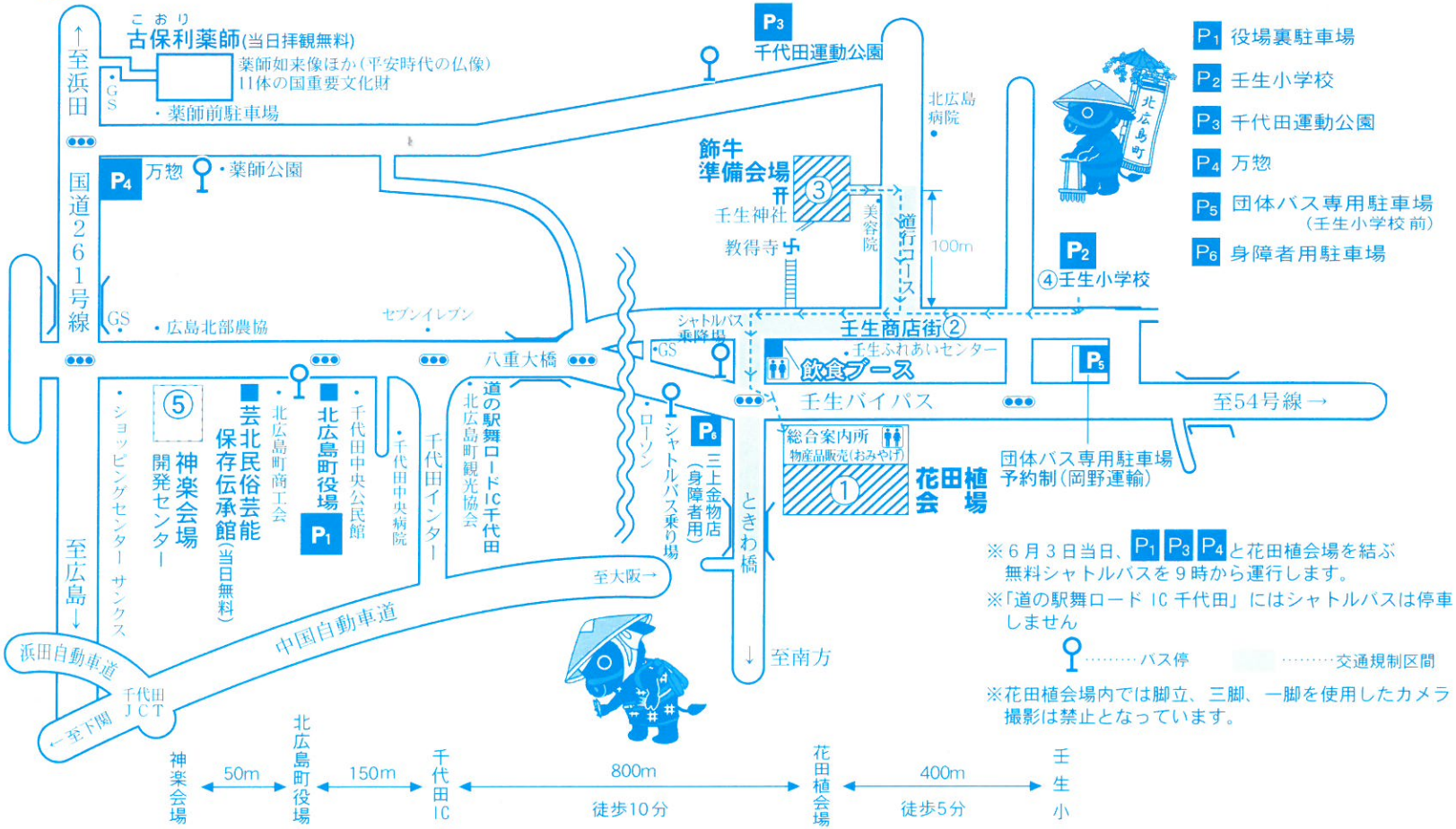
壬生の花田植と無形文化財合同まつり案内図



P1 役場裏駐車場
P2 壬生小学校
P3 千代田運動公園
P4 万物
P5 団体バス専用駐車場(壬生小学校前)
P6 身障者用駐車場

※6月3日当日、P1 P3 P4と花田植会場を結ぶ無料シャトルバスを9時から運行します。
※「道の駅舞ロード IC 千代田」にはシャトルバスは停車しません
……バス停　……交通規制区間
※花田植会場内では脚立、三脚、一脚を使用したカメラ撮影は禁止となっています。

ユネスコ無形文化遺産登録
国重要無形民俗文化財
『壬生の花田植』
2018年6月3日(日)

◆ 壬生商店街 ②

・各団体道行(行進・演技披露) 10：50～
(天候・諸事情により変更することもあります)

10：50～ **壬生小子ども田楽**
壬生小学校出発 ④→②→①

12：00～ **本地の花笠踊り**(広島県無形民俗文化財)
壬生小学校出発 ④→②→①

12：30～ **飾り牛**
壬生神社出発 ③→②→①

13：00～ **壬生田楽団**
壬生神社出発 ③→②→①

13：00～ **川東田楽団**
壬生小学校出発 ④→②→①

◆ 花田植会場 ①

・芸能発表 12：00～

12：00～ **壬生小金管バンド**
子ども田楽

12：40～ **本地の花笠踊り**(広島県無形民俗文化財)

・花田植公開 14：00～
飾り牛と田楽団の一大田園絵巻

※開始時刻は予定です

神楽会場案内 6月3日(日) 午前8時30分開場 午前9時開演 (11時終了予定) 会場:千代田開発センター⑤

※神楽鑑賞の後シャトルバスで花田植会場の近くまで移動できます。
時間に余裕がありますので、最後までご覧いただけます。

【全席自由席】
前売 1,200円／席
当日 1,500円／席
小・中・高校生は500円
(当日券のみ)
小学生未満は無料

1. 八岐大蛇 山王神楽団(千代田地域)

大蛇のほおずきのように燃える目は、三日三晩砂鉄と木炭を燃やし続けるタタラの炎。
八人目の姫・奇稲田姫は、めずらしく豊かに実った田の稲です。八岐大蛇は、古代の中国山地の鉄づくりと命がけの米づくりを伝えます。

2. 土蜘蛛 大塚神楽団(大朝地域)

古代、大和朝廷が生まれる頃、朝廷の権力争いに敗れた一族は、葛城山の山奥へと逃れて土蜘蛛のような暮らしをしていたと伝わります。
そしてこの一族の子孫が時を超え、平安の世を乱そうと都へ忍び寄ってくるのです。

3. 奥州平泉 琴庄神楽団(豊平地域)

平氏追討の英雄・源義経は、公家の世を取り返そうとする後白河法皇に操られ、武家政治の世にしようとする兄・源頼朝からは賊とみなされ、追われる身となります。
義経は、少年の頃に大事に育ててくれた平泉藤原秀衡の里をめざします。